

弘 監 収 第 8 号
令和 3 年 8 月 1 7 日

弘前市長 櫻 田 宏 様

弘前市監査委員 菊 地 直 光

弘前市監査委員 佐々木 宏 一

令和 2 年度弘前市健全化判断比率
審査意見書の提出について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項の規定に基づき
審査に付された令和 2 年度弘前市健全化判断比率及びその算定の基礎
となる事項を記載した書類について審査したので、次のとおり意見書を
提出する。

令和2年度弘前市健全化判断比率審査意見

1 審査の概要

(1) 審査の対象

令和2年度弘前市健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類

(2) 審査の期間

令和3年7月20日から令和3年8月4日まで

(3) 審査の方法

審査に当たっては、市長から提出された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうか主眼を置き、関係諸帳簿及び証拠書類との照合等通常実施すべき審査手続のほか、必要に応じ関係者に説明を求めるなどの審査手続を実施した。

2 審査の結果

審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

審査の結果は以上のとおりであるが、健全化判断比率及び早期健全化基準は、次のとおりである。

健全化判断比率	令和元年度	令和2年度	早期健全化基準
① 実質赤字比率	— (%)	— (%)	11.40 (%)
② 連結実質赤字比率	— (%)	— (%)	16.40 (%)
③ 実質公債費比率	7.0 (%)	6.4 (%)	25.0 (%)
④ 将来負担比率	52.7 (%)	48.6 (%)	350.0 (%)

(1) 実質赤字比率

令和2年度は該当数値なしで、前年度と同様である。

(2) 連結実質赤字比率

令和2年度は該当数値なしで、前年度と同様である。

(3) 実質公債費比率

令和2年度は 6.4%で、前年度に比べ 0.6ポイントの減少である。

(4) 将来負担比率

令和2年度は 48.6%で、前年度に比べ 4.1ポイントの減少である。